

19. 輸血製剤廃棄率

算式

$$\frac{\text{【分子】 廃棄赤血球製剤単位数}}{\text{【分母】 使用輸血赤血球製剤単位数 + 廃棄赤血球製剤単位数}}$$

定義

輸血用血液・血液製剤のうち廃棄された血液・血液製剤の割合

指標の解説

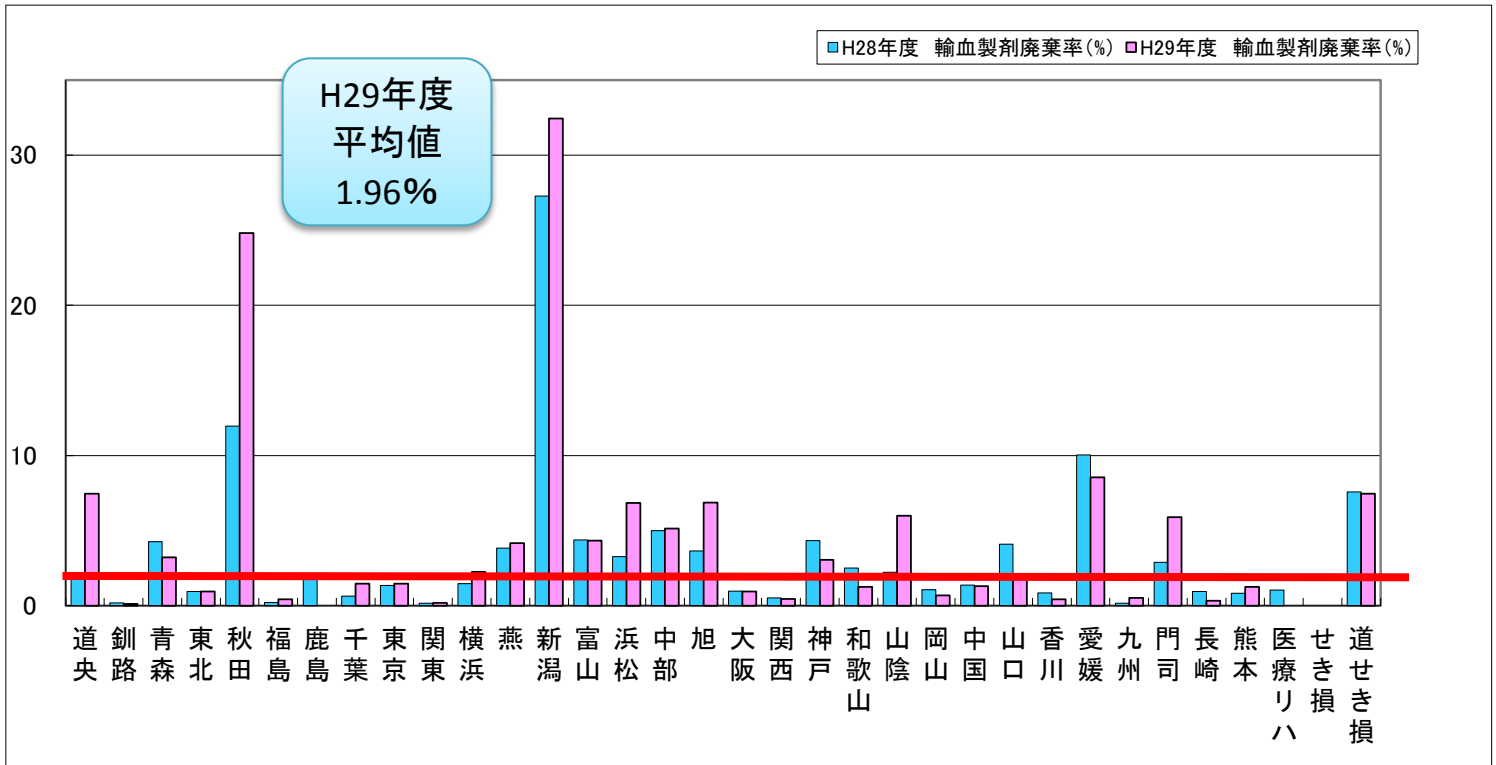
施設調査より抽出

医療資源の有効活用に関して、輸血用血液の適切な管理・使用状況について輸血製剤の廃棄状況から評価する。

廃棄率が低い場合には、輸血製剤が適切に管理・使用されていると評価できる。

(注) 当該指標については、病院と血液センター間の距離が影響しており、都市部（輸血センターから近距離）と地方（輸血センターから遠距離）の病院で大きく差が出る傾向にあります。また、地方の病院においては、不測の事態に備えて血液製剤をストックしておく必要があるため、結果として廃棄率が高くなる傾向にあります。

19. 輸血製剤廃棄率



No	施設名	H28年度			H29年度		
		分母	分子	輸血製剤廃棄率 (%)	分母	分子	輸血製剤廃棄率 (%)
1	道央	565	10	1.77	375	28	7.47
2	釧路	4,095	8	0.20	3,643	4	0.11
3	青森	1,920	82	4.27	1,682	54	3.21
4	東北	2,774	26	0.94	2,130	20	0.94
5	秋田	502	60	11.95	274	68	24.82
6	福島	1,976	4	0.20	2,373	10	0.42
7	鹿島	224	4	1.79	160	0	0.00
8	千葉	4,333	28	0.65	4,253	62	1.46
9	東京	1,929	26	1.35	1,915	28	1.46
10	関東	7,748	12	0.15	8,098	16	0.20
11	横浜	6,117	90	1.47	7,125	160	2.25
12	燕	1,666	64	3.84	1,536	64	4.17
13	新潟	792	216	27.27	592	192	32.43
14	富山	1,276	56	4.39	1,474	64	4.34
15	浜松	1,895	62	3.27	1,873	128	6.83
16	中部	1,920	96	5.00	2,104	108	5.13
17	旭	1,374	50	3.64	1,064	73	6.86
18	大阪	6,236	60	0.96	5,690	54	0.95
19	関西	9,693	50	0.52	9,742	43	0.44
20	神戸	2,146	93	4.33	2,060	63	3.06
21	和歌山	2,901	73	2.52	3,321	42	1.26
22	山陰	3,546	79	2.23	2,370	142	5.99
23	岡山	3,192	34	1.07	2,948	20	0.68
24	中国	2,048	28	1.37	2,144	28	1.31
25	山口	1,810	74	4.09	2,252	40	1.78
26	香川	4,246	36	0.85	4,712	20	0.42
27	愛媛	638	64	10.03	562	48	8.54
28	九州	3,606	6	0.17	3,098	16	0.52
29	門司	901	26	2.89	916	54	5.90
30	長崎	2,553	24	0.94	3,046	10	0.33
31	熊本	3,828	32	0.84	4,152	52	1.25
32	医療リハ	386	4	1.04	678	0	0.00
33	せき損	106	0	0.00	104	0	0.00
34	道せき損	502	38	7.57	456	34	7.46
合計		89,444	1,615	1.81	88,922	1,745	1.96
平均	500床以上	5,748	56	0.97	5,815	67	1.15
	400床以上	3,292	23	0.69	3,277	25	0.75
	300床以上	2,504	55	2.21	2,514	58	2.30
	300床未満	696	49	7.00	611	51	8.35